

お客様・パートナー様各位

fusion_place 8.0 リリースのご案内

2019年1月21日
株式会社フュージョンズ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。
本日、fusion_place の新バージョン「8.0」をリリース致しましたことのお知らせ申し上げます。

記

1. リリースの位置づけ

本リリースは、一般向け LTS（長期サポート版）です。fusion_place cloud、premium に加え、fusion_place standard についても提供されます。フルバージョン番号は、8.0.0-S114 です。

本リリースのご提供に伴い、これまでの最新版であった 7.0 系列は長期サポート版となります。7.0 系列は、今回リリースの 1 年後まで不具合修正パッチ提供対象とし、2022 年 3 月までセキュリティ対応修正及び問合せ対応を継続します。

2. ご提供方法

弊社サポート窓口（support@fusions.co.jp）にお問い合わせください。お試しにご利用になる場合は、試用ページ（<http://www.fusions.co.jp/products/trial/>）からインストーラをダウンロード頂けます。試用許諾条件・使用許諾条件とも、旧バージョンから変更ありません。既存のバージョンからのアップデートは大変簡単です。後述する「インストール方法」をご参照下さい。

3. 主な機能改善点（7.0 対比）

（1）Java 11 及び Java リリースモデル変更への対応

Java11 に対応するとともに、Java リリースモデルの変更に対応し、クライアント PC において、導入済みの Java に依存せず fusion_place を利用できるよう「fusion_place 実行環境」を導入しました（ただし、リクエストの使用に際しては Java が必要です。fusion_place 実行環境に含まれている Java を用いることも可能です）。

上記に付随して、Java 8 以前の Java 実行環境、 Vista 以前の Windows と、2007 以前の Excel のサポートが廃止されます。これらの環境をご利用の場合は、7.0 系列をご適用下さい。

他にいくつかの不具合修正を織り込んでいます、詳しくはインストーラに添付された以下のファイルをご覧下さい：

change-log.8.0.0-S114.txt

上記ファイルは、インストーラの zip ファイルを展開した際に現れる change-log フォルダにあります。

4. 新バージョンへのアップデートに際してのご留意事項

① fusion_place 実行環境のインストール

クライアント PC には、「fusion_place 実行環境」をインストールして頂く必要がございます。64-bit Windows 用の「fusion_place 実行環境」は、fusion_place メニューからダウンロード可能です。32-bit Windows をご利用されている場合は、弊社までご連絡下さい。

② Excel-Link アドインファイルの差し替え

当バージョンでは、Excel-Link アドインファイルは更新されていませんので差し替え不要です。なお、Excel-Link のバージョン番号は「6.2.2」です。

③ リクエストのバージョン選択(fusion_place premium, cloud のみ)

リクエストについては、Java11 以降をご利用の場合、今回、同梱した実行可能ファイル（jar ファイル）をご利用ください。Java 8 以前をご利用の場合、旧バージョンのリクエストを引き続きお使いいただけます。

5. インストール方法

インストール手続き自体は旧バージョンと変わりませんが、インストールの前に、旧バージョンでお使いのデータベースをバックアップするとともに旧版のソフトウェアをアンインストールして頂く必要があります。

また、前述のように、インストール後、各クライアント PC で「fusion_place 実行環境」をダウンロードしてインストールする必要があります。

詳細は、本リリースのインストーラに同梱されているユーザマニュアル (fusionplace-usermanual.chm) の以下の項目をご参照下さい：

「fusion_place をセットアップする」

> 「02. セットアップ手続き」

> 「04. fusion_place をバージョンアップする際の手続き」

データベースレイアウトについては、7.0 から変更ございません。

6.x 以前のバージョンからバージョンアップされる場合、インストール後、ユーザが fusion_place にログインする最初のタイミングで、データベースが最新のレイアウトに移行されます。移行処理は完全に自動的に行われますので、ユーザが手を煩わせる必要はありませんが、以下の点にご留意下さい。

- ① データベースに含まれるデータ量が大きい場合、移行処理に数分かかることがあります。
- ② 移行されたデータベースファイル群を、もとのバージョンで使用できるレイアウトに戻すことはできません。

以上